

四国ブロック会議（令和3年8月20日・高知県主催によるオンライン開催）

参加者は約70名。開催県の高知県より宮本謙三高知県福会長が開会宣言を行い、続いて開催権挨拶として吉岡成高知県会長及び桑名龍吾高知県議会議員があいさつを述べた。その後本部あいさつとして、福田益和全専各連会長が6月16日の全専各連定例総会・理事会で承認された令和3年度事業計画（重点目標）を説明、特に次年度予算に関連して職業実践専門課程への支援をめぐる都道府県を通じた国への支援要望の筋道について説明するとともに、令和4年夏に予定されている参議院議員選挙の候補者として全専各連が団体推薦を決定している山谷えり子参議院議員への応援を呼び掛けた。次いで、来賓として山谷参議院議員がお祝いの言葉とあわせて、職業教育を支えている専修学校を引き続き支援していきたいと述べた。同じく来賓の赤池誠明参議院議員からお祝いの言葉並びに、停滞が続く留学生受け入れの状況等困難な現況を率直に認めつつも、議員連盟総会に提出された全専各連要望事項についての対応状況と承認された決議内容が報告された。

上記来賓挨拶後は行政説明に移り、文部科学省専修学校教育振興室の船木茂人専門官から祝辞並びに行政報告として、配布資料に基づき専修学校教育の振興施策として令和3年度文科省専修学校関係予算、コロナウイルス感染症への対応、職業実践専門課程等を通じた質保証・向上、リカレント教育、修学支援制度等について説明。引き続き全専各連事務局が全専各連活動報告として、令和3年度事業計画について計画立案方針として昨年度から引き続きコロナウイルス対応を重視したものであること、重点目標の内容とその対応状況について説明。また、現在文科省で開催されている「専修学校の質の保証・向上に関する調査研究協力者会議」の状況説明を行うとともに、国の動向を注視することの必要性や、各種制度への積極的な対応を呼び掛けた。続く各県行政報告においては資料に基づき県毎の施策が報告され、更に各県専各活動報告では、コロナ禍において難しい状況の中においても工夫された活動事例が報告された。その後は次回開催県である愛媛県河原成紀会長からあいさつが行われた。続いて近藤邦夫高知県副会長から閉会のあいさつが述べられ、前鼻英蔵全国専門学校青年懇話会会長からの懇話会の案内が行われ全日程を終了した。